

山本せいご後援会事務所 : TEL/FAX 0774-95-6288
精華町大字南稲八妻小字門口71 : Eメール seigo722@balloon.ne.jp
: ホームページ http://www.balloon.ne.jp/seigo722/

■平成23年3月2日～3月29日第1回定例会が開催されました。

山本議員の一般質問を通じて、議会活動報告をいたします。
なお、委員会などのトピックスは、ホームページの「山本せいごの活動報告」でご覧になれます。

■山本せいごの一般質問

質問 1 環境センターについて(新センターと打越台)



質問 (1)木津川市環境センターの進捗状況は。
●鹿背山地区においてどういう問題があって、住民に拒否されているのか？

答弁

①打越台環境センターが設置される前は、鹿背山地区に焼却場があった。
木津川市は、以前から反対をされている中で候補地に決定したことから、地元はまだ受けてもらえない状況となっており、説明会まで至っていない。←

- ②国の交付金を受け、生活環境調査、現況調査、施設基本計画などの策定に関する業務を発注し、業務を進めている。
- ③平成23年度は、現地調査や地質調査など本格的な調査の実施を予定している。

質問 (2)打越台環境センターの今後の処理方は。

答弁

- ①稼働後30年が経過し老朽化が進んでおり、早急な更新が必要とされている。
- ②このため平成23年・24年度に焼却炉2炉について片炉ずつ補修工事をする。
(補修工事中の10ヶ月間はゴミの持ち出し処理が必要となる。)
- ③工事終了後は、新しい環境センターが稼働するまでの7年程度の期間、補修しながら維持運営していくことになる。
- ④新しい環境センターが稼働の運びとなった際は、覚書に基づき撤去等をするようになる。

(3)環境センターに対する財源確保は。

質問 <建設費概算が、240～360億円とも試算されているが！>
●基金の6億3000万円強の積み立ては、精華町の持ち分と確認されているか？
●基金条例を早く改正し、厳しい財政の精華町の金として使うべきではないか？

答弁

- ①打越台環境センター関連での費用負担
 - 平成23・24年度の焼却炉補修工事……精華町按分負担分 約1億4000万円
 - ゴミ持ち出し処理費用(平成23年度) ……精華町按分負担分 約 2300万円
 - 現施設の撤去費 ……………算出後、基金として積み立ての必要。
- ②新センターにかかる費用は、精華町にも相当な財政負担を伴うため、基金の創設も必要となる。
- ③今までの基金の積み立ての6億3200万円は、精華町の資金であることを精華町・旧木津町・旧山城町(木津川市)で確認済みである。運用にあたっては基金条例の改正の必要を認識しているが、諸般の事情で現在まだ行われていない。

財政厳しいとき、早く整理して環境センター工事などの財源とすべきだ！
建設費用などは、将来的に大きな財政圧迫要素となる！

議会だより (つづき)

質問 2 町財政について



質問 (1) 今後5年間の状況について

質(1)-1 歳入(収入)の傾向は。

- 答 ①住民税は景気回復で緩やかな回復。固定資産税は、やや回復基調を見込む。
②全体としては総額約120億円程度で緩やかに増加傾向と推計している。

歳入



質(1)-2 歳出(支出)の傾向は。

- 答 ①歳出総額としては、約122億円程度で大きな変動はないと推計している。

質(1)-3 地方債(借り入れ)発行の状況と見通しは。

- 答 ①今後の投資的事業の財源と、臨時財政対策債を合算して毎年10億円程度の借り入れを見込んでいる。

基金



質(1)-4 基金(積立預金)の状況と見通しは。

- 答 ①平成16年度末で約58億円保有していた基金は、繰上償還、歳入不足の補填、教育施設の整備、土地区画整理事業などに活用し、約25億円の残高を減らした。
②事業の計画立案にあたっては、先行して必要財源を基金に積み立てし、見通しが立った時点で事業着手するなど計画的な財政運営に努めたい。
③平成23年度予算で、5億4700万円の収支不足が発生している状況である。平成24年度以降の5ヵ年度に収支不足を1億7000万円まで解消する見通し。

今後5年間は、収支は赤字継続、基金は、毎年目減り！

質問 (2) 更なる財政改革について

質(2)-1 改革の重点ポイントは。 質(2)-2具体的な取り組み計画は。

- 答 ①平成21年度まで取り組んだ改革プログラムの行財政規律を当面維持向上させる。
②「経費節減型」の行財政改革には限界がある。積極的な企業誘致の推進を図る。
③「経費削減型」から「選択と集中型」への転換を明確にし、重点化政策の具現化に向けて推進をしていく。

予算・決算委員会(3月18日)、本会議(3月30日)で修正提案をする。

修正動議 精華病院への町からの貸付金の減額修正を提案する (提案者・山本)

■精華病院への貸付金(運営資金) 1億円を 5000万円に減額することを提案する。

理由

- (1)病院経営が「黒字」に転換した。
(2)町の財政事情が厳しく、貸し付ける余裕は無い。
(3)以前から、貸し付けに関して減額を含め検討することになっている。
民間であれば当然、銀行から融資を受けるべきである。

採決の結果: 否決される

精華病院には、これ以上貴重な税金をつぎ込むことに疑問を感じています。
今後、移転など多額の金がある時は住民に問い、その声にもとづいて対応したいと考えています。